

麗江納西族民俗調査中間報告 I

はじめに—調査経過—	佐野 賢治
白地の東巴文化—麗江納西族予備調査の—光景—	佐野 賢治
納西族の民俗宗教に関する諸問題—道士・サニ・ドンパについて—	丸山 宏
サンド信仰民俗考	白 庚勝
納西族“三多”神考	木 仕華
納西族地区における馬幫活動の考察	上野 稔弘
「賚」—ナシ族女性の中で流伝している古い神秘的な頼母子講—	黄 琳娜
納西族のヒツジ管理にみる家畜の命名と個体識別—予察—	安室 知
ナシ族民俗調査中間報告	飯島 吉晴
滇文化と鶏	余 嘉華
寧夏南部山地の端午節句	張 宗奇
青藏高原のヤク飼養文化	張 存徳

はじめに —調査経過—

[予備調査] 1993/6/28~7/18

佐野賢治・白庚勝は納西族の民俗調査の可能性の打合せのために雲南社会科学院を訪問。何耀華院長はじめ、郭大烈、楊福泉諸氏と話し合う。引き続き佐野・白は麗江納西族自治州を現地訪問。麗江人民政府文化局および麗江博物館の諸氏と打ち合わせ。佐野は「民具研究と民俗博物館」, 「シャーマニズム研究の現状」と題し麗江博物館, 東巴文化研究所にて講演, その後, 東巴関係資料の参観, 東巴諸氏との座談を行う。麗江県内の五カ村の予備調査を行った後, 東巴教の聖地, 白地を中甸経由で訪問。文化站にて東巴経の復元, 白地での東巴儀礼を実見する。調査の実施について, 雲南社会科学院, 麗江人民政府, 麗江博物館, 東巴文化研究所の全面的支援が得られることを確認した。

[西南中国民俗調査団の結成]

平成6~8年度にわたる文部省科学研究費国際学術研究『漢族と周辺諸民族における民俗

宗教の比較研究—納西族・彝族と日本の民俗宗教の比較民俗学的考察—(代表: 佐野賢治)が採択され, その実施のために日中合同の西南中国民俗調査団を結成。団長, 佐野賢治(筑波大学助教授), 秘書長, 丸山宏(筑波大学講師, 現東北大学助教授), 団員, 田中通彦(筑波大学助教授), 小熊誠(沖縄国際大学教授), 矢放昭文(京都産業大学教授), 飯島吉晴(天理大学助教授), 松岡正子(鶴見大学講師), 研究協力者, 上野稔弘(筑波大学大学院生), 自費参加者として安室知(横須賀市立人文博物館学芸員), 中国側は顧問, 何耀華(雲南社会科学院院長), 団長, 郭大烈(雲南社会科学院民族研究所長), 秘書長, 白庚勝(中国社会科学院民族文学研究所副研究員), 団員, 李子賢(雲南大学図書館長), 陶立璠(中央民族大学民俗文化センター主任教授), 周星(北京大学副教授, 現教授), 巴莫曲布摸(中国社会科学院民族文学研究所副研究員), 巴莫阿依(中央民族大学宗教研究所講師), 研究協力者, 李錫(麗江博物館長), 習煜華(東巴文化研究所)。

[第1回 研究会] 1994/7/27

筑波大学歴史・人類学系にて第一回研究会「納西族の民俗文化概況」(佐野賢次)及び調査準備を行う。

[第1次調査] 1994/9/10~10/5

- 9/10 日本側団員成田を出発、午後上海に到着。
- 9/11 早朝上海を出発、正午に昆明到着。中国側団員と合流。
- 9/12 午前、雲南省社会科学院にて調査日程打ち合せ。午後、雲南民族村参観。
- 9/13 午前、西山太樺寺等を訪問。午後、省博物館及び雲南大学図書館を参観、図書館所蔵の少数民族に関する貴重本を閲覧。
- 9/14 昆明を出発、夕刻大理古城に到着。
- 9/15 大理を出発、午後麗江到着。夕刻宿泊地太陽酒店内にて県人民政府の歓迎会。
- 9/16 午前、県博物館を訪問、李錫館長の案内で東巴文化に関する展示を参観し、博物館員と座談。午後、東巴文化研究所を訪問、東巴と座談。
- 9/17 前日に引続き東巴文化研究所を訪問、三組に分れてそれぞれ東巴教の教義、儀礼等々について東巴から聞き取り調査。本日より夕食後の日中各研究者の交流セミナーとして、「麗江大学」を開催。第一日目は郭大烈氏が納西族の人口分布・言語・歴史について講義。
- 9/18 雲杉坪訪問。交通事情から途中より馬により移動。李館長の説明では雲杉坪は納西族伝承中の「第三国」に擬せられる。「麗江大学」第二日目は佐野が日本人の靈魂観と修験道について講義。
- 9/19 午前、白沙郷玉峰寺を参観。午後、三多廟で村民から聞き書き調査。夕食後、宿泊地となりで開催された民族舞踊を参観。
- 9/20 午前、白沙郷にて明代壁画を参観し

た後、白沙郷政府弁公室にて木都村長及び村書記より白沙郷のあらましに関する説明をうける。その後三組に分れて郷内の三村(太平村、木都村、東文村)で聞き書き調査。

- 9/21 白沙郷龍泉村を訪問。伍村書記より龍泉村の概略について、解放前に革靴産業で栄えたことなどの説明。三組にメンバーを再編成し、それぞれ村民から聞き書き調査。「麗江大学」第三日目として李館長が県博物館新館の納西族文化展示の全体構想について発表。
- 9/22 金山白族郷大来村を訪問。調査に先立ち、李副郷長より大来村について説明をうける。三組に分れて聞き取り調査。昼休み時に、二手に分れて村の共同墓地及び革命遺跡を調査。夕刻、村民による歓迎会にて民族舞踊を参観。「麗江大学」第四日目は李子賢雲南大図書館長が雲南少数民族の口頭伝承について講義。
- 9/23 午前、前日に続き大来村を調査。午後県城に戻り、一部団員は東巴文化研究所で東巴から聞き取り調査。
- 9/24 金山郷美良行政村美自増村を訪問、和村書記の説明を受けた後、三組を再編成して聞き取り調査。午後、村民による民族舞踊を参観。
- 9/25 文峰寺を訪問。登精ラマの儀式を参観した後、僧侶と座談。「麗江大学」第五日目では田中通彦氏が東アジア世界における朝鮮と日本について講義。
- 9/26 太安郷汝寒坪村を調査。調査組を再編成、それぞれ村の東巴から聞き取り調査をすると同時に、木楞房式家屋の構造を調査。「麗江大学」第六日目は東巴文化研究所の習先生より東巴の祭天儀式の説明を受け、博物館の映像記録資料を鑑賞。
- 9/27 前日に続き、汝寒坪村を調査。午後、

東巴舞を参観。「麗江大学」第七日目は巴莫姉妹が納西族と彝族の靈魂觀の比較について講義。

- 9/28 拉市郷余楽村を調査。昼食後に村内をまわり、寺廟等を参観。
- 9/29 佐野、李、陶各氏が県博物館の県博物館と東巴文化研究所共催の座談会に参加。夕刻、全団員が県政府代表と座談。佐野が今回の調査についての所感を述べる。郭中国側団長が今回の調査の成果について総括。
- 9/30 早朝麗江を出発、昼頃中旬に到着。迪慶州藏学研究所王曉松所長の案内で帰化寺を参観。夜、藏学研究所にて県民委及びラマ僧と座談。
- 10/1 早朝中旬を出発、夕刻大理市下関に到着。
- 10/2 下関を出発、夕刻昆明市に到着。
- 10/3 終日自由時間。夕刻、省社会科学院の接待により慰労会。
- 10/4 午前、日本側団員が昆明から上海に移動。北京側団員は帰京。
- 10/5 日本側団員帰国、空港にて解散。

[第2回研究会] 1995/2/18

筑波大学歴史・人類学系にて、第一次調査の中間報告および筑波大学にて研究中の白庚勝氏よりのコメント及びアドバイスを受ける。

[第2次調査] 1995/2/27~3/22

- 2/27 松岡、成田から上海へ。
- 2/28 矢放・小熊、香港から昆明へ。松岡、上海から昆明に入り合流。夕食は郭先生の招待で春城酒樓。
- 3/01 矢放・小熊・松岡と郭大烈・黄琳娜（雲南社会科学院・郭夫人・漢族）・和淑英（雲南省人民医院・ナシ族）・張忠華（運転手）、8:00に昆明発、17:00に大理着。
- 3/02 8:30大理発、12:30麗江納西族

自治県着。3:00~5:30東巴博物館見学、李錫（館長）・和学文（東巴74歳）の説明を受ける。

- 3/03 8:30麗江賓館発、9:30太平郷汝寒坪村着。午前中は郷人民政府の王元恒（副書記）・張儒林（党委書記）・楊耀金（村長）らから太平郷及び汝寒坪村の概況について話を聞く。午後は3人がそれぞれ分かれて調査。4:00から5人の東巴による踊りを広場にて見学。5:00汝寒坪村を離れる。中国側随行は郭・黄・和の三氏以外に、木庚錫（麗江県城建局）・李錫・楊村長。
- 3/04 10:00~6:00まで汝寒坪村にて調査。4:30頃から、村内で行われた婚礼（新郎側の嫁迎え、新婦の家での宴会、新婦の出嫁など）を見学。新婦の家に100元のお祝いを贈り、全員が宴席に招かれた。中国側随行は木庚錫・李錫・木基元（雲南民俗博物館）・楊村長。夕食は和女士のお兄さん宅で麗江の家庭料理をいただく。
- 3/05 麗江県横山行政村宏文村において郭大烈氏父母の「三年齋」を見学。午前中は祭儀の準備とナシ族の少女達による踊り。12:30より儀式開始。東巴2人による読経、祖先の靈の迎えと送りなど様々な儀式が郭家の屋敷内と門外、墳墓場（郊外の山麓）で5:00頃まで行われた。祭儀を執り行なったのは、和士誠（東巴・88歳）・和即貴（東巴・73歳）、和力民・和品正・李例方（以上東巴文化研究所）。
- 3/06 麗江県金山白族郷貴峰行政村大来下村において「三朵祭」を見学。主催は大来下村老年会・和万宝（元麗江県委書記・地区副専員など）。4:00矢放・小熊は夜行バスにて麗江をたち昆明へ（3/7午前8:00昆明着）。夜は和作寛氏（麗江行署副専員）の招待で麗江

賓館餐厅にて夕食。

3/07 9:30~5:00まで汝寒坪村にて調査。12:00 和国柱(東巴・61歳)宅にて和家の「三朵祭」を見学。

6:00~8:30まで「国際麗江合作発展研究中心」にて夕食及び談話会。出席者:郭・黄・和および和笑春(合作社秘書長)・和石生・和永忠(以上同秘書),松岡。

3/08 9:30~4:30まで汝寒坪村にて調査。6:00~県城内で行われていた「三朵祭」と「婦女節」を祝う人々の群舞を毛沢東銅像前の広場で見学。

3/09 10:00~5:30まで汝寒坪村にて調査(3/7~3/9の村での調査は日本側は松岡のみ)。6:30~9:00まで麗江県黄山郷黄山行政村士満村の梅工場の見学。夜は和紅村長宅にて夕食を御馳走になる。

3/10 9:30麗江を発ち、夜9:00に楚雄に到着。郭夫妻の友人宅に招かれて夕食。

3/11 10:00 楚雄発, 12:00 昆明着。

3/12 終日休息。

3/13 9:30雲南社会科学院(何耀華院長)訪問。書店巡りと書籍の郵送。郭先生宅にて昼食。

3/14 郭先生宅にて昼食。14:00 松岡, 昆明を発ち成都へ。夜, 四川民族研究所の李紹明先生を訪問。

3/15より3/21まで, 松岡は四川省凉山彝族自治州にて予備調査。

3/21 松岡, 14:15 成都発, 16:20 上海着。

3/22 松岡, 9:10上海発, 12:40 成田着, 帰国。

※本報告は平成6年度実施の麗江地区民俗調査の中間報告の一部と, 西南中国の民俗に関心を持つ中国の民俗研究者の誌上参加論文で構成した。引き続き, 団員の中間報告は行っていく。

なお, ナシ語, 漢語からの翻訳の困難さもあり, 意味の取り違いなども予想される。大方のご叱正, ご教示をお願いしたいと思う。

(文責・佐野賢治)



調査風景, 余楽村にて '94/9/29